

第3回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会 委員意見取りまとめ（議事要旨）

	ページ	委員意見	回答案
資料 2		アンケートの表の網掛けの部分が特に重要と思えない。	調査結果報告書におけるクロス集計表の網掛けについては、一般の方々が報告書を確認する際に、解説文の数値がクロス表内のどの数値を指しているのかわかりやすくするために網掛けをさせていただきましたが、いただいた意見をもとに、回答者の属性によって回答に大きな差がみられる箇所だけに網掛けさせていただきます。
		現状について把握はできますが、このような意見とデータを行政どのように活かすのかについて書かれていません。ここに入れるか、もしくは書かれているURLを載せる必要があると考えます。	調査結果報告書は、計画策定の前段階において市の現状や課題を把握するための資料として作成いたしました。これらの調査結果を踏まえた現状と課題やそれを解決していくための方向性・施策について次期計画書全体にわたり記載しております。
		・アンケート内容を前回と比較したりただ説明しているこの文章の位置付けが理解できない（24P, 26p, 67p, 71p, 73～78p, など）。具体的に計画策定に結び付ける解説をして欲しい。	
	3、10	P3の1行目および3行目、P10の上段欄外：細かいことですが、「平成31年度」は、（令和元年）と追記した方が分かりやすいと思います。	「平成31年度」は全て「令和元年度」に修正させていただきます。
	3	ブロックの分類について秋川1～6丁目、秋川駅前なのに第2ブロックなのは違和感があります。旧二宮地区だったから東秋留なのだろうが、人口分布から考えても、第3ブロック（西秋留地区）の方が良い。	住所の字で分類させていただきました。次回策定時の参考にさせていただきます。
	10	回答してくださる方の年齢が高く、若い人の回答が少ない。インターネットでの回答では画面に%表示をすることで、取り組んでいただける目安になるそうですが、回答くださった内容はとても良くまとまっています。	調査対象者の抽出やインターネットでの回答率向上に関して、次回のアンケート調査を行う際の参考にさせていただきます。
	21	害獣に対する不満が2件ありますが、五日市地区山治いでは猪、猿、鹿が畑に現れ作物を食い荒らし作物を耕作できなくなりつつあります。	ご意見について担当課と情報共有をさせていただきます。
	24-25	すべての項目において近所との付き合いの減少がみられますことがとても心配になります。個人の事由、プライバシーなど前面に出て協調性がなくなってきている。これからの団体行動がまとまらなくなっていくか？	プライバシーの保護との兼ね合いもあり、以前のような近所付き合いが難しくなっている状況を踏まえ、居場所づくりや地域のつながりに関する意識啓発を進め、住民間での交流を図ることに努めてまいります。
	26、32	近所との関係について「あまり関りをもたたくないから」との回答や「地域の行事に参加したくない」などの回答の増加傾向は「みんなが支えあい 育ち合うまち」を目指す必要性を感じさせられました。	いただいたご意見を参考に、基本理念の実現に向けて施策を推進してまいります。
	41-42	必要が出れば手助けできる（50-60%）とまとめられると思います。	いただいたご意見を参考に、「回答者のうち、5割以上の方は必要な時に手助けすることができるがわかります」と追記させていただきます。
	58	ボランティア活動への関心がうかがわれ、この意欲をぜひ無駄にせず地域の力に取り入れるしくみがあればよいのにと思いました	ボランティア活動への意欲を持つ方に対して、積極的な情報提供や参加支援を図り、地域活動の担い手育成に取り組んでまいります。
	59	問13-2 ボランティア活動に関心のある方が決して少なくないとの結果が出ているので、地域の活動の担い手を掘り起こすとともに、ボランティア活動のやりがいなども発信できるとよいのではないかと思います。	
	71	「社会を明るくする運動」の認知度の低さが特に若者世代に顕著である。国、東京都、市が今後の広報、啓発についてその方策を見直す時期に来ていることを感じた。	資料3 計画案の再犯防止計画に「社会を明るくする運動」に関する取組をはじめ、学生などの若年世代に向けた意識啓発についても記載しており、引き続き認知度を向上させるために取り組んでまいります。
79	問20 地域保健福祉の情報提供について、年代別で出ている結果をもとに、年代に関わらずなるべく多くの市民に周知提供できるよう、ホームページやSNS、あきる野市広報誌をはじめ、多くの媒体を活用できるとよいと思います。SNSなどでは、その情報を入手してどうだったかなどの感想なども随時発信できると、より効果的な情報発信につながると思います。	いただいたご意見を参考に、今後もより多くの市民に情報の周知・提供ができるよう検討してまいります。	
94-101	市民の意見が具体的に分かり、このような内容が福祉計画に反映していただきたい。	いただいたご意見を参考にしながら、計画策定を進めてまいります。	
95	自由記述でも記載されているように、あきる野市の施策について「知らない」ことが多いように感じます。近隣の地域と比べて、あきる野市が優れている面も多くあると思いますが、それが市民に伝わっていないのは残念ですし、もったいない事と感じます。また、各種情報の発信についても、「わかりやすさ」をもっと考えて行ってもらいたい。以前の委員会で意見がありましたが、「子どもが読んでわかるように」というのは良い指標かと思えます。	いただいたご意見を参考に、誰にでもわかりやすい情報提供についても検討を進めながら、施策に関する周知を進めてまいります。	

第3回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会 委員意見取りまとめ（議事要旨）

資料 3	あきる野市地域保健福祉計画（案）		大変詳細に説明されています。	ご意見ありがとうございます。
			2 計画策定における背景と目的、課題がしっかりしているので、この内容で対応していただけると良いと思います。	ご意見ありがとうございます。
		8	SDG s について：「あきる野市第2次総合計画・・・」としているが、特に調べなければあきる野市がSDG s を推進している事を多くの市民は知らない。唐突にSDG s が出てくると違和感を感じるので、まず初めにこの事をはっきりと明記すべきである。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		14	地域別（人口）について、交通の利便性が良くなることを希望します。 （マップの内容から中央線寄りの高齢化の少ないことが分かる）	担当課とご意見を共有させていただきます。
		14-15	少子高齢化が急激に進んでいることが解り、また過疎化が進んでいる事が現実解りやすく、それと交通の利便性が大きな要因であることが解り交通の利便性が求められる。	担当課とご意見を共有させていただきます。
		16	合計特殊出生率について調べました。少子高齢化が進んでいることが分かりました。	ご意見ありがとうございます。
		17	保育サービスの利用状況の推移 こどもの人口減少に伴い、保育サービスの利用者数も減少していますが、サービスを充実させることでこどもの人口減少に歯止めがかかる可能性もあるため、利用者ニーズの把握をするなど、サービス充実につながる取組ができるとよいと思います。	担当課とご意見を共有させていただきます。
		27	3 地域福祉にかかる関係者・機関・団体の状況（前回も同じ法律表現） ➡ 地域福祉にかかわる関係者・機関・団体の状況	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		27	町内会・自治会数が、H30年度に比べて2減少しているが、合併によるものか、解散して空白地区が生じたのか？空白地区が生じているのであれば、その状況を記載する必要があると考えます。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		28	健康づくり市民推進員数 健康づくり市民推進員、いわゆる健康づくり推進員は多くの自治体で推進員の高齢化や担い手不足などの課題が出ています。健康づくり市民推進員の皆さまの活動を評価しつつ、他の健康づくりを推進するための方法を検討できるとよいのではないかと思います。市の健康づくり事業には参加されていない方も、健康に関心のある市民の方は年齢問わず多くいらっしゃるのではないかと思いますので、民間企業との連携等、さまざまな健康に関する取組が検討できるとよいと思います。	担当課とご意見を共有させていただきます。
		36	地域福祉ということばの理解とその仕組みづくりについては難しいと思います。「隣近所で困ったこと」「色々相談されたこと」など易しいテーマで色々寄り合いなどの場を利用してつながるまちをつくることも良いと思います。	「市民のみんなが取り組むこと」の中で、つながるための仕組みづくりについて、より分かりやすいことばで記載したいと考えます。
		39	基本目標（1）（2）ぜひ実行していただきたい内容です。 コミュニティーの充実が信頼安心を感じる仲間をつくり、見守り防犯につながる。孤独にならない。 自治会でのイベントの開催について、参加者が増えるよう、市のホームページやメール配信などで発信してもらえると良い。	担当課とご意見を共有させていただきます。
39	「誰ひとり取り残さない」はSDGsの観点からも大事なキーワードである。	ご意見ありがとうございます。P 8 の通り、本計画はSDGsに関連しております。		
39	地域生活課題を「我が事」→「自分事」にしてはどうか。 まだ定着していないことばかも知れないが。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。		

第3回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会 委員意見取りまとめ（議事要旨）

資料 3	あきる野市地域保健福祉計画（案）	42	地域での人と人との繋がりを推進していくにあたり、主となるのが自治会であるかと思えます。しかしながら、その自治会を運営することが、自治会参加への足枷となっているように感じます。自治会の良い部分を最大限に活かすためには、運営に係る負担を軽減するための支援が必要であると考えます。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		42	震災などで高齢者を助ける手段は、身内でも難しい。地域でのつながりの希薄化は無視して欲しくない。	ご意見ありがとうございます。地域住民がゆるやかにつながることで、近隣に住む方について把握し、災害時など困ったときに声を掛け合えるようなまちづくりを推進していきたいと考え、P45のように施策を展開いたしました。
		42-43	施策の展開：基本目標・・・現状と課題、施策の方向性等に記述がある[1-①-（1）]の表示は煩わしい。むしろ第2章の現状の頁[27頁3-（1）]に代えるか、無い場合はアンケート調査報告書のページ数を表示した方がよい。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		43	避難場所・避難所を追加してはどうか？違いを知らない市民も多いと思う。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		42-45	10月にハザードマップが配付されるとのこと。各地区の災害の予測を説明することで、つながるしくみをつくるひとつのチャンスにしてはどうか。あきる野市の救護所の中央公民館のバリアフリーはぜひ必要です。	担当課とご意見を共有させていただきます。
		44、47	町内会・自治会に対しての「市が取り組むこと」では、活動支援・加入促進だけではなく、組織のありようや位置づけ、役割について、「再構築なども見据えた検討」が必要だと考えます。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		44-48	コラムによって実際の活動の様子を知ることができ、わかりやすくイメージできてもよいと思いました。	ご意見ありがとうございます。コラム掲載にあたりご協力いただいた委員の皆さま、ありがとうございました。
		44	施策の展開：市民のみんなができること：町内会・自治会、ふれあい福祉委員・・・などの活動を理解し参加しましょう。市が取り組むこと：地域で活動する町内会・自治会、民生委員・・・などへの市民の参加を積極的に促し活動を支援します。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		第4章	全体的に「市が取り組むこと」の内容の抽象度が高いように感じます。一例として、P44を取り上げます。市民のみんなができることで町内会・自治会での交流イベントの参加を促していますが、アンケート報告書の自由記述にあるように共働き、近所方の非協力的態度により参加したくない理由が挙げられています。つまりこれらのボトルネックを解消しないかぎり参加はできないことは明白で体感的にも理解できる要因です。その解決方法の記載なく参加しようといわれてもできないのでは？という印象をうけました。これらを踏まえてもう少し具体的に「市が取り組むこと」を記載された方が親切なように感じました。全体的にこのような問題点が散見されます。	「市が取り組むこと」の内容について再度検討させていただきます。
		46	コラムにラジオ体操を入れていただき、ありがとうございます。	ラジオ体操についての情報提供をありがとうございます。ぜひコラムをお読みいただきたいと思います。
		49	市民のみんなができること 公園などの公共の場所では自分たちできれいに利用しようのほうがよいのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		50	市民のみんなができること 高齢者や障害者外国人などさまざまな人とわけへだてなく交流しようという表現のほうがよいのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
		51	子育ての面で見ても、支援を受けたい・受けさせたいと思いきども家庭センター等の相談窓口へ行っても、その先に繋がるのが難しくなっている。特に、子どもの療育については、診察を受けるのにも相当な時間がかかっているが、その状況が改善される傾向はみられていない。 「誰ひとり取り残さない」ために、受け口を広くしたり、支援が必要などころに出向いたりすることも大切ではありますが、受けた相談に応えられるようにすることの方が、より優先度が高いと感じます。	ご意見ありがとうございます。 療育の件につきましては、担当課とご意見を共有させていただきます。 計画の内容につきましては、検討させていただきます。
		62	「市民のみんなができること」の2項目はイメージとしてやや強制的な感じを受けたので「罪を犯した人（たち）が地域の中で立ち直ろうと努力していることを認識しましょう」としたらどうでしょうか？	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
68	ボランティア活動については、参加意欲だけでなく、参加実績（頻度も含め）を見る必要があると考えます。（その他の項目についても、意向や認識にとどまらず、行動・活動実態での評価が必要と考えます。）	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。		
68-69	評価については、策定・推進委員会への報告・検証と次期計画策定時のアンケート調査とあるが、68・69ページでは、アンケート調査による検証項目しか記載されていないため、雑駁な印象が否めない。項目全てではなくても、策定・推進委員会で行っている評価方法・内容について触れた方が、PDCAサイクルのイメージがしやすいのではないかと。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。		
68-69	指標の設定：指標例としてアンケート数値を表記しているが、これをそのまま設定するのは現状維持でしかない。5年後の努力目標を掲げるべきと思う。	ご意見ありがとうございます。検討させていただきます。		